

広い世界でも

自信と誇りを持って

うちやま まもる
内山 守さん

元大仁小学校田中山分校
分校主任(教諭)

MY WAY



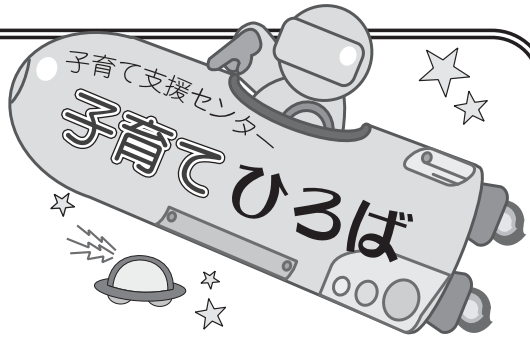
昭和五十一年に教師になって以来、旧田方郡周辺の小学校を歴任してきた内山さん。平成十八年、教師生活二十八年目の赴任先は、初めての分校勤務でした。

田中山分校は昭和二十三年に創立、昭和三十年代には九十人以上だった児童数もその後減り続け、内山さんが赴任してきたときにはすでに全校六人の複式学級でした。

「最初は、正直言って面食らいました」と、内山さんは当時を振り返ります。「でもそのうち、人数が多くなって少なくて一人ひとり大切にしてくという教育の基本は同じだ、ということに気がついたので」。

平成二十年三月三十一日十六時四十五分、内山さんの手によって校門が施錠され、田中山分校六十一年の歴史は幕を閉じました。最後の五人の児童たちも小さな分校を巣立ち、四月から大仁中学校という広い世界でスタートを切ります。

「彼らには、分校で学んだことに自信と誇りを持ってほしい。五人で過ごした貴重な体験を大勢の子どもに託してほしい。最後の児童たちに託す内山さんの思いはきっと、すべての田中山分校卒業生からの思いでもあるでしょう。」



市では、子育てを支援する『地域子育て支援センター』を3カ所開設しています。

親子で来園して楽しく遊んだり、友達を作ったり、保護者の育児情報交換の場としてご利用ください。市内に住所があり、小学校就学前までの幼児と保護者なら、どなたでも無料で利用できます。

また『子育て相談』もありますので、お気軽にどうぞ。

なかよしひろば

(慈恵保育園地域子育て支援センター)
白山堂 171 2 電話 0558 76 2552
月～金 9:00～17:00(祝日除く)
(園庭開放は9:00～11:30)

4月のぎょうじ

27日(日)花まつり

*事前申し込みが必要

天気の良い日は園庭で絵本や紙芝居の読み聞かせをしています。相談専用電話では、子育ての悩み相談に、専門の保育士が応じます。ご利用ください。

相談専用電話 0558 76 2656

詳しくは各園まで
お問い合わせ
ください。



ひまわりひろば

(ひまわり保育園大仁分園
地域子育て支援センター)
大仁 229 1 電話 0558 76 1173
月～金 9:00～11:30、13:30～16:00
(祝日除く)

4月のぎょうじ

11日(金) 10:30～リズムであそぼ!

14日(月) 10:00～

こいのぼりを作ろう(2、3歳)

15日(火) 10:00～

こいのぼりを作ろう(0、1歳)

17日(木) 10:30～星のおはなし会

24日(木) 避難訓練

行事の時間はいずれも午前中

すみれひろば

(地域子育て支援センターすみれ)
四日町 234 1 電話 055 949 0823
月～金 9:00～11:30、13:30～16:00
(祝日除く)

4月のぎょうじ

3日(木) 手形を押そう

4日(金) 手形を押そう

8日(火) 絵本の読み聞かせ

11日(金) リズム遊び

15日(火) 誕生会

18日(金) 製作

22日(火) 避難訓練

25日(金) 身体測定

30日(水) クリーン作戦

行事の時間はいずれも午前中

図1 年齢別受診人数

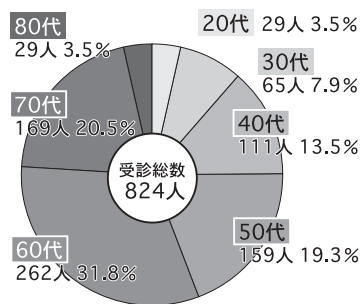
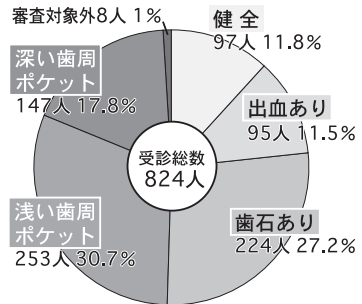


図2 歯周の状態



平成十九年度歯周疾患検診受診者は八百二十四人で、年齢別受診人数は、図1のとおり。六十代が最も多く、七十、五十、四十代もそれに続き、中高年の歯周病予防への意識の高さが見える一方、三十代以下の若い人の意識はまだ低いようです。

歯周の状態については図2のとおりで、健全な人はわずかに割れ、残り九割はなんらかの異常が発見され、そのうち五割の人には歯周病進行のサインである歯周ポケット*が確認されました。これらの結果を受け、必要な人には歯科医から早めの治療や指導がされました。

いつまでも自分の歯でおいしいものが食べられるように、定期的な検診を受けて、歯周病を予防しましょう。

市の歯周疾患検診は毎年五月から始まり、市内の各歯科医院で受診できます。まだ検診を受けたことのない人は、ぜひ健康づくり課へお申し込みください。

*歯周ポケットって? 歯と歯ぐきの境目の溝のことで、深くなると口内の汚れがたまりやすくなります。健康な歯ぐきでは1～2mm、程度の歯周炎があると3～5mm、歯周病が進行した状態だと6mm以上になります。

今回は、昨年度に受診された市の歯周疾患検診の結果をお伝えします。



最終回
歯周疾患検診
結果発表



問合せ
健康づくり課
電話 0558 76 8014

親子におすすすめ
ピンポイント情報

パパっれこっで!!!

狩野川河川敷には
野鳥がいっぱい

最終回

皆さんは、中島グラウンド付近の狩野川河川敷(上地図)へ行ったことがありますか?ここは、知られざる野鳥のウォッチングポイント。双眼鏡と鳥類図鑑を片手に出かけましょう。

現地へは徒歩でも行けますが、四輪駆動車で河川敷の未舗装路を走れば、ガタゴト道に子どもは大興奮。

広い中島グラウンドに人気のないときは、山間部に住むトンビが群れて舞い降りる様子を観察できます。

水際に行けば、対岸に鮎の稚魚を食べてしまう害鳥・カワウもいますが、無害なカモが泳ぐ姿も見られます。カモは、警戒もせず愛嬌たっぷり近くに近づいてくるので、運がよければ目前でじっくり観察できるかもしれません(*害鳥ではありませんが野生生物ですので十分ご注意ください)。

こんなに近くで野鳥を見る機会はめったにないので、子どもたちも大喜び。ただし、川の中は深く流れの速いところもあり危険な上、釣り等漁業行為には狩野川漁協の入漁証が必要ですので、むやみに川に入らないようにしましょう。

自然のルールを破らないよう気を配りつつ、子どもたちと一緒に野鳥の生活を覗いてみるのはいかがでしょうか。

愛嬌たっぷり寄ってくるカモとふれあってみては